

意思決定支援研修

発行元：半田市 令和元年12月

近年、障がい福祉分野において「意思決定支援」が重要視されています。

今回は、支援者に意思決定支援とは何か、また、今後の支援にどのように反映していけるかを考えてもらうため、研修会を開催しました。

日時：令和元年12月20日（金）

9時30分～12時00分

講師：野澤 和弘 氏（毎日新聞客員編集委員）
（一般社団法人スローコミュニケーション代表）

場所：雁宿ホール 視聴覚室

参加人数：60名



❖ 「意思決定支援」と「ベストインタレスト」 ❖

意思決定支援とは、自己決定に困難を抱える障がいのある方が、日常生活や社会生活に関して自らの意思が反映された生活を送ることができるように、本人の自己決定を最大限に支援することであり、それでも意思決定ができない場合には、本人の主観的要素に十分に配慮し、権利や行動の自由を制限する程度がより少ない選択肢を考慮し、「ベストインタレスト」に適った決定を行うこと。

ベストインタレストとは、本人に代わって意思決定を行うすべての他者に対して、独断的価値判断の押し付けを避け、自らの行為を慎重に見直すことを求める法原理のこと。

❖ 自己決定の支援において大切なこと ❖

- ・本人と支援者の間の信頼関係や安心感
 - ・本人が理解しやすい形や方法での情報提示
 - ・自己決定をするための十分な時間の確保
 - ・本人の理解しやすい時期や環境
 - ・失敗してもやり直すことができる
- 支援の組み立て など

支援者が本人の自己決定を支援するうえで大切にすべきことは、本人が何を理解しているかを支援者が理解することであり、「あなたは私たちと同じだよ。何も違いなんてないよ。」と伝え続け、信頼関係を構築することです。

❖ 文章で物事を伝えるときの留意点 ❖

次の3点に留意する必要があります。

- ①長い文や複合文にしない
- ②難しい漢字の利用を避ける
- ③平仮名のみでの文にしない
- ④二重否定や抽象的な言葉、比喻を利用しない

❖ 社会での体験の必要性 ❖

研修の最後に、障がいのある方も、障がい福祉サービスで固められた生活だけでは適切な自己決定に結びつかず、社会の中でさまざまな体験を積み重ねることが大切である、とお話いただきました。



【問い合わせ先】半田市障がい者自立支援協議会事務局

半田市障がい者相談支援センター 徳山

TEL 0569-21-5585

半田市地域福祉課 富田・片山

TEL 0569-84-0641